

豊里



地域住民が地元文化を伝える

総合的な学習「郷土の話」は1月13日、豊里小・中学校(大場正浩校長、児童生徒489人)で開かれ、3年生54人が県の有形民俗文化財に指定されている竈神について学びました。

竈神は江戸期に火が安全に使われるようにと、家々に祭られたといわれています。児童らは、学校支援ボランティアの守屋博さんを講師に、竈神の由来や民話について説明を受け、興味深く聞き入っていました。

無火災を願い地元神社で祈願

市消防団米山支団の「登米市消防団米山支団無火災祈願」は1月16日、米山町の網場神社で開かれ、大川俊司支団長ら関係者5人が出席しました。

今回の無火災祈願は、新型コロナウイルス感染症対策のため人数を制限して開催。玉串を奉納し、令和4年の米山地区の無火災を祈願しました。大川支団長は「今年は無火災で過ごせるよう、火災予防の啓発に力をいれたい」と防災に向けた取り組みへの決意を話しました。



米山

石越



災害時は中学生も支援の力に

「石越地区災害ボランティア研修会」(登米市社会福祉協議会石越支所主催、佐藤伊支所長)は1月27日、石越中学校で開かれ、2年生28人が参加しました。

研修会は災害ボランティアセンターの説明を受けた後、4グループに別れて災害ボランティアの受け付けや避難所で使う簡易テントの組み立てなどを体験しました。研修会后、生徒を代表し、工藤快太さんが「災害時は、災害ボランティアとして地域のために活動したい」と話しました。

地域の見守り誓い気持ち新た

「交通安全・防犯指導隊への市長告辞伝達式」は1月13日、市役所南方庁舎で開かれ、南方地区交通安全と防犯の指導隊員15人が出席しました。

この式は、中止になった令和4年出初式の代わりとして実施。南方地区の両指導隊に市長告辞が伝達されました。両指導隊長は「今後も交通事故防止のため隊員一丸となり任務を果たします」「犯罪を防止し、明るく住みよいまちづくりを推進していきます」と決意を新たにしました。



南方

津山



新年迎え木でトラの親子制作

新年を迎え、木工職人の西條孝一さん(73)＝津山町横山11区＝の工房では、本年の干支であるトラの置物が制作されています。

今年のトラは特に細かいパーツが多く、手の込んだ力作。もくもくハウスでの販売のほか、インターネットからの注文も多く、売れ行きは好調です。西條さんは「トラを表現しつつ、可愛さを出すため何度も試行錯誤した。可愛いと思ってくれたらうれしい」と、作品に込める思いを話しました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



新田地区死亡事故ゼロ6千日

「交通死亡事故ゼロ6千日達成表彰式」は1月19日、市役所南方庁舎で行われ、市交通安全対策協議会と県佐沼警察署から新田地区コミュニティ推進協議会の星勘司会長へ褒状が贈られました。

同地区では、2005年8月から交通死亡事故ゼロを継続し、1月17日に6千日を達成。星会長は「地域の皆さま一人一人の交通安全意識があつてこそその達成。今後も記録を伸ばしていきたい」と力強く話していました。

ネットの危険と利用法を学ぶ

「スマホ防犯安全教室」は1月18日、登米小学校(岩淵達郎校長、児童203人)で開かれ、6年生30人が参加しました。

同教室は、KDDIの大黒晃さんと登米警察署の小川徹太さんを講師に開催。児童たちはオンラインゲームやSNSでのトラブルについて問題点や原因を考えたほか、インターネットでも相手を思いやった発言をする必要があることなど、利用時の正しい知識を学びました。

登米



東和



冬ならではのスポーツ楽しむ

「米谷公民館青年教育事業スノーボード教室」(米谷公民館主催、齋藤茂春館長)は1月22日、岩手県北上市の夏油高原スキー場で開かれ、地域住民8人が参加しました。

午前中にインストラクターから滑り方について指導を受け、午後からはそれぞれに別れてゲレンデを滑走。最初はうまく滑れなかった初めての参加者も、一日を通して少しずつ上達し、スノーボードの楽しさに触れながら親睦を深めました。

若かりし頃の写真を懐かしむ

「二十歳の写真展」(上沼コミュニティ運営協議会主催、千葉博幸会長)は1月5日から20日まで、上沼ふれあいセンターで開かれ、市内外から760人が来場しました。

1963から2020年までに開催された旧中田町4地区の成人式の集合写真58年分、約200枚を展示。会場では、偶然再会した同級生や知り合いとともに、若かりし頃の思い出に話が弾んだり、家族で来場し一緒に観覧したりするなど、微笑ましい光景が見られました。

中田

